

令和7年度功労者表彰



令和7年度 公益財団法人 内田農業振興会功労者表彰式 令和7年11月19日 於：明治神宮

令和7年11月19日（水）明治神宮において令和7年度東京都農業感謝祭が執り行われました。東京都農業協同組合中央会表彰に引続き、今年度、各農業協同組合組合長並びに各市区町村農業委員会会長よりご推薦をいただいた農業者13名と各農業協同組合組合長よりご推薦をいただいた農業団体役員9名を表彰いたしました。

当日は今季一番の寒さの中ご参集いただき、明治神宮本殿にて正式参拝、御神楽を奉納し、五穀豊穰を祈念いたしました。その後、表彰式を盛大に執り行いました。

【令和7年度功労表彰者のご紹介】

宍戸 幸男 様（JA東京中央）	村田 訓男 様（JA東京みどり）	小林 和男 様（JA東京みなみ）
増田 勝義 様（東村山市）	高橋 清一 様（江戸川区）	相田 敏雄 様（西東京市）
米津 元一 様（八王子市）	中村 正男 様（小平市）	内藤 孝雄 様（国分寺市）
丹生 守 様（青梅市）	山下 照雄 様（立川市）	中島 浩志 様（羽村市）
中溝 章雄 様（町田市）	中村 芳男 様（青梅市）	馬場 弘明 様（日野市）
田中 喜一郎 様（板橋区）	井竹 博 様（JAあきがわ）	市村 朋宏 様（JA東京スマイル）
白倉 敏行 様（JA東京スマイル）	馬場 政宏 様（JA東京みなみ）	中村 豊 様（JA全農東京）
小林 正浩 様（JA共済東京）		

永年にわたり東京都の農業および農業団体の発展・振興に尽力されたみなさま、功労章受章誠におめでとうございます。これからの益々のご活躍をお祈り申し上げます。

また、ご寄付をお寄せくださいましたみなさまには、感謝状を贈呈いたしました。誠にありがとうございました。引続き、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

内田農業振興会功労表彰式

当財団の功労章とは、多年にわたり農業に従事し、東京都の農業の発展・振興に貢献し、さらに農業後継者の育成に功労がありその功績が顕著な農業者および農業行政、農業団体の発展に貢献した方々に授与するものです。

毎年各地区農業委員会、農業団体、ホームページを通じての公募により推薦を受け、当財団の表彰規程に基づき理事会で慎重に審査を行い、表彰者を決定しています。

例年東京都農業感謝祭にて、受章者の方々の功績を称え、表彰式を行っています。昭和43年5月に第一回の表彰式を挙行し、令和7年度で59回を数えこれまでに1,744名の方々を表彰しました。



昭和43年第2回表彰式・前列中央が内田先生

内田秀五郎先生の紹介2

今回は内田先生が井荻村の村長だったころのお話です。

先生が著書「東京農業の今昔」の中で語られている村長時代の思い出を紹介します。

村長就任5年目の明治44年（1911年）に井荻村教育会が創立されました。

1886年小学校令により尋常小学校4年が義務教育となり、1907年に義務教育が6年になったころには児童の数がずいぶん増えてはきましたが、父母たちは教育について関心が薄く、関心を高めるために村内の有志と教育会を作りました。教育会では学用品の共同購入や学用品の貸出し、貧しい家庭に義務教育費を援助したり、成績優秀な子供には賞品を与えたりしました。この教育会の事業が井荻村の教育振興に大変役立ち、他の町村に先駆けて立派な校舎や教育設備を整えることができました。それも教育がいかに大事なものかということを経験により村民が理解し考えるようになったからです。

村づくりは人づくりであり、人づくりは教育です。すぐに目に見えた効果はありませんが、教育は村づくりの土台です。教育事業ほど先の楽しいものではありません。

また教育会創立の翌年には慈善会を作りました。農村が疲弊してくると生活困窮者や路上生活者が増え、治安が悪くなると村民も困っていましたので、寄付を募り慈善会を作って、生活困窮者や孤児、被災者に援助や見舞いをすることができました。

次に思い出深いのは道路の改修でした。井荻村の南側には甲武鉄道（現在のJR中央線）が開通し荻窪駅ができました。農産物を荻窪駅や東京に運び出すため、青梅街道、所沢街道など幹線道路となる府道を荷車で運んでいましたが、府道とはいえ泥んこ道ですから雨が降ればぬかるみになって大変苦労しました。荷車が通れるよう砂利を敷いて一通り完成するまでには数年かかりましたが、

1919年に道路法ができて村内の道路の実測を行い、坂を平らにし曲がりくねった道をまっすぐにきれいな道路が完成しました。道路の改修に熱心だったものだから「道路村長」というあだ名を頂戴したほどでした。

村に電燈を引いたのもこの頃でした。荻窪駅前も市街地はなく、村じゅうはランプを使っていましたが東京電燈会社との度重なる交渉で大正10年に電燈がつき、パッと電気がついた時の騒ぎは大変なもので消燈するのに口で吹いても消えないので、またひと騒ぎしたものでした。（「東京農業の今昔」より）



井荻村の農村風景

町田市米作り農業体験



町田市民を対象にした「米作り農業体験」が行われました。春の田植えに始まり、夏には草刈り、9月にはたわわに実った稲を刈り、11月の収穫祭では参加者の子供たちやご家族が餅つきをして一連の米作り農業を体験しました。

参加者からは「毎日食べているお米を作ることは大変手間がかかり苦労も多いけど、たくさんのお米が収穫できた時はとてもうれしかった」「ご飯を残さないようにします」などの感想が寄せられ、農業の大切さを理解することで「食」に感謝する

ひとつのきっかけができました。

これからも農業の魅力を発信できるイベントを応援していきます。

有害鳥獣駆除活動

東京都における野生鳥獣は自然生態系からみると大切な財産ではありますが、農業への被害が増大しています。近年ではハクビシンや特定外来種のアライグマなど都市部にも深刻な被害がでています。営農意欲の減退防止と農地を健全に保全していくため、有害鳥獣駆除に対して積極的に取り組んでいます。

令和6年度:当財団への捕獲申告状況

鳥獣種類	ハクビシン	タヌキ	アライグマ	アナグマ他
捕獲数	38	25	79	3

圃場に残る害獣の足跡



後継者ふれあい交流会の開催



東京農業の未来を担う後継者を対象にふれあい交流会（婚活イベント）を行いました。イベントの前には男性向けに自分磨きのための「コミュニケーションセミナー・身だしなみセミナー」を行い、ファッション、髪型、女性とのおしゃべりの極意などを学びました。男性の魅力と自信の向上につながって積極的に参加できたとの報告もあり、今年申請があったイベントでは4組のマッチングが成立しました。



今や日本の社会問題ともなっている少子化。まずは素敵なパートナーと出会い、温かい家庭を築いていくための機会を提供しています。

これらの活動に対し助成金をお出ししています。ぜひ、ご活用ください。また、活動助成には条件がありますので、ホームページをご参照いただくか、事務局にお問い合わせください。

寄付のお願い

農業の担い手の高齢化、後継者不足や農地の減少と遊休農地の増加など農家が抱える問題は少なくありません。しかしながら、都市農業の有利性を活かして消費者に新鮮で安全・安心な農産物の提供と自然環境の保全、災害時の避難場所としての提供など多面的な機能と役割が重要視されています。内田農業振興会は東京都の農業のための事業をおこなっていくために寄付をお願いしています。

- ・日本国内の個人・法人・団体などご賛同くださる方ならどなたでもご寄付いただけます。
- ・東京都の認定を受けた特定公益増進法人であるため、税法上の優遇措置が受けられます。
- ・一口10,000円よりご寄付いただけます。
- ・寄付金申込書はホームページからダウンロード、または事務局にお問い合わせください。

みなさまのご寄付で東京都の農業を応援しましょう。

財務状況 (令和6年度)

貸借対照表				
令和 7年 3月 31日 現在				
公益財団法人 内田農業振興会 (単位：円)				
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	7,022,779	7,031,232	△ 8,453	
未収金	0	1,370	△ 1,370	
流動資産合計	7,022,779	7,032,602	△ 9,823	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	65,301,762	65,301,762	0	
基本財産合計	65,301,762	65,301,762	0	
(2) 特定資産				
農業振興事業積立資産	75,808,605	77,703,216	△ 1,894,611	
特定資産合計	75,808,605	77,703,216	△ 1,894,611	
(3) その他固定資産				
保証金	840,000	840,000	0	
その他固定資産合計	840,000	840,000	0	
固定資産合計	141,950,367	143,844,978	△ 1,894,611	
資産合計	148,973,146	150,877,580	△ 1,904,434	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	426,381	436,386	△ 10,005	
預り金	33,890	33,708	182	
流動負債合計	460,271	470,094	△ 9,823	
2. 固定負債				
固定負債合計	0	0	0	
負債合計	460,271	470,094	△ 9,823	
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄付金	141,110,367	143,004,978	△ 1,894,611	
指定正味財産合計	141,110,367	143,004,978	△ 1,894,611	
(うち基本財産への充当額)	(65,301,762)	(65,301,762)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(75,808,605)	(77,703,216)	(△ 1,894,611)	
2. 一般正味財産	7,402,508	7,402,508	0	
正味財産合計	148,512,875	150,407,486	△ 1,894,611	
負債及び正味財産合計	148,973,146	150,877,580	△ 1,904,434	

令和6年度 助成金 1,463,000円

農業後継者育成事業、農業振興のための事業に対し助成金を提供しています。

令和6年度 寄付金 2,500,000円

ご寄付いただきましたみなさま、誠にありがとうございました。
東京の農業振興のため、有意義に使用させていただきます。
今後ともご支援くださいますよう、よろしく願いいたします。

かんたん！エクササイズ

最強最長と言われた寒波も過ぎ去り、春の足音が近づいてきました。寒さで縮こまっていた身体をゆっくり動かして、筋力アップしてみましょう。

今回紹介するのは片足立ちです。無理をせずに壁や椅子につかまって、できる範囲で行ってください。

- 背筋を伸ばしてまっすぐ立ちます。
- 足は床から 1~2cm離すだけで十分ですが、できたら膝を股関節の高さまで上げてみましょう。
- 身体がぐらつく場合は必ず壁や椅子などに手を添えます。
- この姿勢を 30 秒キープし、左右交替して 1 セットと数えます。
- 1 日 3 セットを目安に行いましょう。

下半身の筋肉が鍛えられることによる転倒防止、骨粗鬆症の予防、血行促進、脳の活性化など様々な効果が期待できます。



【編集後記】

ミラノ・コルティナ・オリンピックではジャンプ女子丸山選手の銅メダルに始まり、スノーボード、フィギュアスケートなど期待通りたくさんのメダル獲得となりました。真夜中の観戦で寝不足になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか？残念ながらメダルに届かなかった選手たちもその思いやがんばりを想像すると胸が熱くなります。

今年は野球のWBCやサッカーワールドカップ、アジア大会(愛知県)などスポーツイベントが目白押しです。選手たちの活躍は見ている私たちを元気にしてくれます。熱い声援を送ろうと思います。

内田農業振興会通信 (第3号) 令和8年2月28日発行

公益財団法人内田農業振興会：190-0023 東京都立川市柴崎町 3-5-24 JA 東京第2ビル 4階

tel 042-528-1561 fax 042-512-5761

内田農業振興会

✉ nougyoushinkoukai_uchida@sank.jatokyo.or.jp